

平成31年第2回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

- 3月12日(火) 午前10時～
- 1 金澤大輔 議員 (60分)
 - 2 田中孝一 議員 (60分)
 - 3 成田哲男 議員 (60分)
 - 4 田口裕 議員 (30分)
- 3月13日(水) 午前10時～
- 5 黒澤一夫 議員 (30分)
 - 6 館花一仁 議員 (30分)
 - 7 中山一男 議員 (30分)

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	14:40
3月12日 (火)	金澤大輔 (60分)	休憩 10分間	田中孝一 (60分)	休 憩	成田哲男 (60分)	休憩 10分間	田口 裕 (30分)

10:00	10:30	10:40	11:10	11:20	11:50
3月13日 (水)	黒澤一夫 (30分)	休憩 10分間	館花一仁 (30分)	休憩 10分間	中山一男 (30分)

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
<p>1 労働人口・人材確保について</p> <p>(1) 5団体連携による緊急共同宣言について</p> <p>(2) 労働環境の改善について</p> <p>(3) 魅力ある働きやすい環境づくりの促進について</p>	<p>① 雇用情勢の逼迫懸念から、市ではこの程、県内では初となる、自治体と関係機関5団体連携による人材確保対策に関する緊急共同宣言を行ったが、取り組みの連携・強化以外に、これまでと違った取り組みはどういったことをするのか伺う。</p> <p>① 鹿角市の平均所得が県平均に比べても低く、秋田県所得（年収）ランキング（2017年）では21位であり、この労働賃金の安さも若者の流出と求職者の減少につながっていると思う。そういう意味では企業側にも危機感を持ってもらい、賃金アップや副業の解禁など、臨機応変な働き方改革を考えてもらいたいと思うのだが、市としてこういった提案や指導または要求をしていく考えはあるか伺う。</p> <p>① 人材確保のための外への発信も大事だが、人材流出を防ぐ為の社員の意見や考えなども酌み取り反映させる事が、魅力ある環境・会社、ひいては魅力ある働きやすい環境作りに力をいれている市として発信できると考える。働く市民の現状を把握する為、「職場の労働環境の現状」と「魅力ある働きやすい環境づくりについて」の設問を市民アンケートに加えてみてはどうかと思うが、考えを伺う。</p> <p>② アンケートを実施した場合、その結果を受けて市がどういった事ができるのか。企業からは行政の介入ととられかねないかもしれないが、旗を振る先導者がいなければ末端の不満は改善されないし現状を変える事もできない。ここは先陣をきって市の非正規職員に副業に関するアンケートを実施し、副業を望む意見が多いのであれば、副業と両立しやすい環境作りに取り組み、試験的に解禁してみてはどうかと思うが、考えを伺う。</p>				

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	60分	
質問事項			質問要旨			
2		関係人口の取り組みについて (1) 鹿角家について (2) 関係人口を取り入れた2拠点 就学について(デュアルスクール について) (3) 外から人を呼ぶための廃校の 利活用について		<p>① 昨年から取り組み始めた「鹿角家」だが、現在どのような効果が生まれていて、これからどんなことに取り組んでいくのか伺う。</p> <p>① 現在、徳島県の教育委員会が取り組んでいる「デュアルスクール」という取り組みがある。これは2拠点居住、移住のお試し体験を目的に、地方と都市、双方の教育委員会の承認が得られれば、転校手続きを簡素化し、住民票の異動をせずに都市と地方の学校で学べる仕組みで、好きな時期・期間で通うことができるというもの。これはまだ国の制度化までは至っていないが、地方創生や働き方改革の観点から高く評価され、平成29年度全国知事会『先進政策大賞』を受賞し、現在モデル事例の積み重ねと検証に取り組んでいるものである。これは関係人口と移住、サテライトオフィスの誘致の可能性など、地方にとっては画期的な取り組みと考える。これを鹿角で取り入れることで、モデル事例と検証の増加につながり、デュアルスクールの制度化実現に一役買えるかもしれないし、アドバイスや検証のやりとりで徳島県との連携が生まれ、この先の新しい関係を築ける可能性もある。本市では、長年続けているよつぎ小学校との交流で下地はあるし、葛飾区とも連携・協力の協定も結んでいる。住居も移住のお試し住宅もあるし空き家もある。保護者の仕事もまちなかオフィスがサテライトオフィスとして使えるし、市として短期就労をあっせんしてあげれば問題はないと考える。これを踏まえて、デュアルスクールに取り組んでみる考えはあるか伺う。</p> <p>① 藤里町では、個人が廃校を買い取って学校の一部を宿泊できる形へと最低限の手を入れて、宿泊をセットにした自然体験教室を開いたりして移住ツアーの受け入れなどに活用している例がある。鹿角でもこれから増える空き校舎を利用し、そのような形プラス「寮」としての機能を持たせた施設を、いずれは民間委託を視野に入れつつ、市営での立ち上げはできないか。寮があれば、学校の部活で市外からの学生を受け入れることが可能になるし、新しくできる高校に外から人を呼べるような特化した学科を望む事も可能ではないかと考える。いろいろな人々が行きかう施設であれば、それだけで教養につながると思う。検討していく考えはあるか伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
3		<p>地域経済活性化について</p> <p>(1)花輪商店街で実施されている健康促進ポイント(健康ポイントラリー)について</p> <p>(2)地域ポイントの導入について</p>		<p>① 現在民間が担っている健康促進ポイント(健康ポイントラリー)は、商店街の活性化と市民の健康促進を目的としているものであるが、エリアを拡大して市全体を対象とした方がより多くの物流につながり大きな効果を生むのではと考えるが、民間にはその体力がない。健康促進ポイントの対象エリアを市内全域に拡大して、市が請け負うようにできないか。その場合、市が現在取り組みを実施しているカード加盟店に加わる、もしくは提携という形をとればスムーズだと考える。検討していただきたいが、考えを伺う。</p> <p>① これまでも市民ポイントの導入について提案してきたが、先にも述べたように、鹿角の商店街が運営している既存のカードのシステムを使えば、奈良市の市民ポイントと同様のことが可能となる。多額な導入費も煩雑な作業も要らず、加盟もしくは提携で端末を置くだけで済む。ファーストベビー祝い金を初め、現在現金支給しているものをポイントで付与する、またはそれらとは別に、新たな手当てをポイント付与で考えることもできる。これにさらに、例えば住民票などの支払いがポイントと交換できたり、市内のほとんどのお店で使えるなどの「ポイントの利活用の幅」と、電子マネー機能と「地域でお金を回す地域通貨」の考えを落とし込むと、「ハミングカード」が最も有効ではないかと考える。また同カード事業を運営している協同組合では、子供や高齢者の見守りシステムも実施しているが、周知と説明の発信が弱くまだ広く普及できていない。市がハミングカードと連携できれば、発信力も上がり普及率も上げられる。ハミングカードを媒体とすることで、既にあるシステムなので導入にお金がかからず、ポイント普及も簡単で加盟店を増やし地域をまとめ、地域でお金を回すシステムと、健康促進と見守りなどの市民包括ケアにつながると考えるが、市で取り入れる可能性があるか伺う。</p>	

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
<p>4 人口減対策について (1) 出会い応援について</p>	<p>① 出会い応援事業は、人口の自然増につながる人口減少対策であると考えているが、婚活というイメージがあまり良いものではないため、突破口が開けないでいる。人口を増やすことは、将来的に一番初めに述べた労働人口に直結するものであるという考えから、人材確保共同宣言のように、市から各種団体や企業に「出会い応援事業」の積極的な利用促進と参加呼びかけを要請してもらいたいが、考えを伺う。</p>				

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	重点施策について	<p>① 来年度は、第6次総合計画後期基本計画における5年間の総仕上げに向けた年と言われ、最重要課題として、産業力の強化について、「販売重視型農業」の推進を図るとしているが、主要産業である農業のこれまでの進捗状況と農業を取り巻く環境は、益々厳しいと思われるが、今後の取り組み施策について伺う。</p>			
2	地域産業の活性化について	<p>① 産業を担う人材の能力開発を促進するため、企業による人材育成を支援しているが、支援策としてどのようなものがあるのか。また、その効果について伺う。</p>			
3	雇用について	<p>① 県内の生産年齢人口は急速に減少し、働き手の確保は喫緊の課題とされ、県内企業の70歳以上雇用が40%と、5年連続で全国1位とされるが、当市の生産年齢人口の状況について、また、対応施策について伺う。</p> <p>② 全国的にあらゆる業種で人手不足と言われるが、当市での業種別の人手不足の状況は。また、倒産や事業縮小とされている企業はどのような状況にあるのか伺う。</p>			
4	児童虐待について	<p>① 子供の虐待について、マスコミ等で大きく報道されているが、当市においてこれまで児童虐待の実態はあるのか。また、あった場合の対応をどのように取り組んできたのか伺う。</p>			
5	子育て支援について	<p>① 幼児教育・保育の無償化が今年10月から3～5歳児は全世帯、0～2歳児は低所得世帯を対象に、認可保育園等の利用料が無償とされるが、当市の対象とされる世帯数は。また、無償となる利用金額はどれぐらいになるのか伺う。</p> <p>② 世代を超えた地域ぐるみの育児を促す、孫育てのヒントをまとめた「祖父母手帳」を発行することで親子や高齢者の孤立を防ぎ、支えあう地域づくりの手引きになると思うが、検討する考えはないか伺う。</p>			

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
6	学校教育について		<p>① 地方の教員は高齢化傾向と言われ、秋田県は50.1歳で、大阪府と10.7歳差あるとされるが、当市の場合にはどのような状況にあるのか。また、小中学校の教育用PCの配置により、ICTを活用した教育の推進を図り、中学校では電子黒板を活用した授業改善を推進し、生徒の学習意欲の向上を図っているが、どのような内容で取り組みをしているのか伺う。</p>		
7	福祉対策について		<p>① 在宅介護が増加する傾向にあると言われるが当市の介護の実態は。また、今後益々高齢化社会となることから介護における支援対策について伺う。</p> <p>② 健康寿命県内一を目指すとしているが、県とはどのように連携しているのか。また、シルバーリハビリ体操を推進しているが、参加者の反応と、その効果について伺う。</p>		
8	地域コミュニティの活性化について		<p>① 高齢者の多い自治会の活動は、今後生活面でも心配されることから、活性化に向けて支援する取り組みが必要と思われるが、どのように捉えているのか伺う。</p>		
	(1)自治会コミュニティ再生応援事業について		<p>① 支援員の活動状況及びこれまでの成果と今後の支援の具体策について伺う。</p>		
	(2)集落支援員活動事業について		<p>① 自治会組織の役員の担い手不足に苦慮している状況がみられるが、市の考えについて伺う。</p>		
	(3)自治会組織の担い手について		<p>① 市道の補修維持管理等を民間委託としたが、今までと比較した場合の問題点や改善することはないのか伺う。</p>		
9	市道の維持管理について		<p>① 市道の補修維持管理等を民間委託としたが、今までと比較した場合の問題点や改善することはないのか伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	鹿角マルシェ推進事業について	① 平成31年度にマルシェ構想の集出荷システム等試験調査が予定されているが、その内容について伺う。			
2	農業生産の振興について (1)北限の桃の産地拡大推進事業について (2)新規ブランド産品育成支援について	① 果樹サポーター育成の予定があるが、その内容について伺う。 ① ブランド化の有望作物としているシンテツポウユリや啓翁桜、シャインマスカット等の実施状況について伺う。			
3	森林経営管理推進事業について	① 人工林の所有者意向の確認を予定しているが、進め方について伺う、 ② 今後、林政アドバイザーを配置する計画もあるが、その役割などについて伺う。			
4	かづのプレミアムツアー造成事業について	① かづのをPRするためにプレミアムツアー造成、販売が予定されているが、どのような内容になるのか伺う。			
5	子育て支援の充実について (1)預かり支援について (2)養育支援事業について	① 対象となる支援の内容はどういうものか伺う。 ① 養育支援コーディネーターの役割について伺う。			
6	公共交通の確保について (1)八幡平デマンド交通実証運行について	① 現在、3自治会で乗合タクシーが運行されているが、八幡平地区での実証運行について伺う。			

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	成田 哲男	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
<p>(2) 十和田山根地区のバス路線の一本化について</p>	<p>① 児童生徒の利用減の予想から一本化の計画であるが、どのような影響が出てくると考えているか伺う。</p>				
<p>7 生涯学習の推進について (1) 地域学校協働活動推進事業について</p>	<p>① 地域学校協働本部の役割等について伺う。 ② 地域学校協働活動推進委員の配置について伺う。</p>				
<p>(2) 地域未来塾について</p>	<p>① 地域未来塾の活動内容について伺う。</p>				
<p>8 スポーツの推進について (1) 城山野球場の整備について</p>	<p>① 今年度球場のグラウンド改修が予定されているが、その内容について伺う。 ② 軟式野球の公式戦は数多く開催されているが、高校野球の公式戦も開催できるような検討はできないか伺う。</p>				

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	田口 裕	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	米の生産調整廃止後の状況と今後の取り組みについて	①	生産調整廃止後1年が経過し、産地間、銘柄競争が激しくなっている。独自の戦略を展開するべきと考える。生産・販売面で現状をどのように捉え、今後取り組んでいくのか伺う。	②	これまで減反してきた土地がそのまま荒廃してきており、水利管理や病害虫管理、環境、景観上対策が必要と思うが、考えや取り組みを伺う。
2	水田の受委託への対応・調整について	①	「水田を委託したいが受けてくれる人がいない」、「委託していた人から返された」という人が出てきている。現状把握とその対応、調整に取り組めないか伺う。	②	受託をしている生産者・組織でも、年齢、設備、人的なことなどから、これ以上の受託は困難というところが多い。地域の担い手を確保するためにも対応をすべきと思うが、取り組みを伺う。
3	法人・集落営農組織・認定農業者の現況と課題について	①	法人・集落営農組織の現況と課題は何か。個別の経営相談・指導は行われているのか。対応が必要と思うが今後の取り組みを伺う。	②	認定農業者の現況はどうなっているのか。特に受託経営をしている生産者の状況と課題について伺う。
4	空き家の利活用について	①	空き家の利活用は地域活力の起爆剤となりうらと思う。積極的な活用に向けて取り組めないか伺う。	②	国内旅行者やインバウンドの旅行形態が変わってきていることや、各種スポーツ大会、祭り、イベント時の対応も見据え、空き家の改修による民泊事業を進められないか伺う。

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	総合計画の推進について		<p>来年度は後期基本計画の4年目の年となる。将来都市像を「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」をつくるとし、2020年に人口3万人以上が暮らしているまちづくりを進めるとしているが、その中で次の点について伺う。</p> <p>① まちなか賑わいと空き店舗活用による活力向上について、どのような取り組みを行うか伺う。</p> <p>② 人口3万人台を維持するための取り組みについて伺う。</p> <p>③ 子供を育てるための市独自の支援の取り組みが市民から喜ばれているが、今後はさらにどのような取り組みを進めるものか伺う。</p>		
2	食育教育の推進について		<p>① 新システムでの学校給食のスタートとなる給食センターの労務、作業の流れ等の準備は十分であるか伺う。</p> <p>② 市内小中学校同一の給食メニューとなるものと思う。生徒への食物の生産の大切さ、食べる喜び、健康の大切さ等、どのような方法で食育教育を進めるか伺う。</p> <p>③ 食材の調達について、鹿角産の食材を多く使い、納入業者についても市内事業者を活用すべきと考えるが、このことについて伺う。</p>		
3	農林業の振興と農地集積促進について		<p>① 農地パトロール実施の状況とその結果について、どのように捉えているか伺う。</p> <p>② 農地の貸借、情報の集積は今後の効率的生産活動に必要であると考えますが、取り組みが進んでいるものか伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
4	観光商工業の振興について		<p>③ 農業振興地域の指定見直しは考えているか伺う。</p> <p>④ 生産品目ごとの大規模生産団地の造成計画が進められ、いい方向付けだと思ふ。通年での生産を行うための経営資金の調達と安定した労働力（者）の確保も大切であると思ふ。市では生産者や計画を検討している方へ、今後どのような支援・指導を行っていくものか伺う。</p> <p>① 企業立地促進条例に基づき、支援が行われている。これまで支援を受けた企業は何社あるか。また金額はいくらか伺う。</p> <p>② 本支援制度による新規雇用者の数を伺う。</p> <p>③ 本支援制度により雇用された方の就労定着の度合いは良好であるか伺う。</p> <p>④ 市内の企業が技術の提携で新規の市場への参入等を行うことを計画して支援すべきと思ふが、考えを伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	館花 一仁	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	<p>新年度対策について</p> <p>(1) 新元号への対策について</p> <p>(2) 消費税増税への対策について</p>		<p>① 現時点でどの程度のシステムに影響があると試算しているか。また、住民票や印鑑証明、各受給者証、公的な書類の発行など、業務システム改修での準備は万全か伺う。</p> <p>② 経費削減のため、封筒や印刷物の抑制もしていると思うが、市として取り組んでいることや、また、改元に伴い、市独自の 방법으로記念となるような取り組み等をされているか伺う。</p> <p>① 10月に予定されている消費税増税に伴い、国では臨時・特別の措置として、中小小売業等に関する消費者へのポイント還元や、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付き商品券の発売により還元が行われるとのことであるが、本市では、市内経済への影響はどの程度と分析し、国の政策と合わせ、本市独自の対策は検討されているか伺う。</p> <p>② これからはキャッシュレス化の普及も進むと予想され、自治体による導入も必要と考えられる。本市では市税等のキャッシュレス決済の導入をどのように考えているか。また、今後、導入予定があるか伺う。</p> <p>③ 10月から消費税が10%に引き上げられることにより、市内でも駆け込みと思われる新築工事がふえていると感じられる。反面、働き手の確保は喫緊の課題と捉えるが、対策はどのように進めているか伺う。</p>		
2	<p>空き家対策について</p>		<p>① 青森県十和田市で「特定空き家」に指定された元旅館を所有者から土地建物の寄附を受け、跡地を利活用することで、国の交付金を活用し、市の財政負担を最小限に抑える検討を行っている。本市でもこの報道のような手法で観光地の空き家対策を行うことができないか伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	館花 一仁	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
3	水道事業について		<p>(1) 水道事業の民営化について ① 昨年12月6日に、自治体が水道事業の運営を民間企業に委託する、コンセッション方式を促す、改正水道法が成立した。一部の自治体ではコンセッション方式導入に向けて、検討しているとの報道もあるが、本市では民営化の採用についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 水道事業の経営基盤強化対策について ① 水道事業の経営基盤強化は、本市にとっても重要な問題と思われるが、近隣市町村との広域化などの検討は行われているか伺う。</p>		
4	eスポーツについて		<p>① 今年の「いきいき茨城ゆめ国体2019」の文化プログラムとして、eスポーツ選手権が初開催される。4月からは都道府県予選が行われるとのことだが、県内及び市内において、eスポーツの取り組みを進めている団体はあるか伺う。</p> <p>② 今後、eスポーツでの国体やオリンピック選手育成のため、本市でeスポーツに積極的に取り組む可能性はあるか伺う。</p>		

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	中山 一男	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		目玉事業について		① 平成30年度の目玉事業3事業のこれまでの事業実績と、その成果・効果等について伺う。 ② 新年度予算にもこの3事業が計上されているが、それぞれの事業概要について伺う。 ③ 平成31年度の「目玉事業」の概要と、その狙い・効果等を伺う。あわせて、何点か目玉事業に準ずる事業の概要と、その効果等について伺う。	
2		誘致企業の状況について		① 平成29年度に誘致した3企業は、既に操業を開始しているかと思うが、それぞれの、市からの最終助成額や会社の操業開始日、現在の従業員数（地元雇用）、今後の雇用人員計画等について伺う。 ② 新たな企業進出の動き、あるいは可能性はあるのか伺う。	
3		プレミアム付き商品券について		① この制度の、低所得者や低年齢児の定義、商品券の販売単位や上限、有効期間、使用できない不相当として除外されるものなど、この制度（政府案）の仕組みを伺う。 ② この制度の対象となる本市の低所得者、子供は何人いるのか。また、予算的な見積もりを伺う。 ③ 市独自の施策として、小学校就学前の児童まで対象を拡大する考えはないのか伺う。	
4		箱型授乳室について		① 箱型授乳室を試験的に「モデルケース」として、公共施設1～2カ所に設置し、好評であれば他の公共施設にも設置する考えはないか伺う。	
5		国民健康保険税について		① 運営主体は県であるが、平成31年度の1人当たりの税額が、前年度よりも約2万5,000円減となった理由をどのように捉えているか。また、この新制度の仕組みについて伺う。 ② 本市の新年度の国民健康保険税は、どのように改定する予定か伺う。	

平成31年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	中山 一男	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
			<p>③ 国民健康保険税は前年度より減額となるが、今後数年間どのように推移していくのか伺う。あわせて被保険者数についても、今後どのように推移していくのか伺う。</p> <p>④ 国民健康保険税を改定する場合は、いつも市民に対して事前に説明会を開催して周知していたが、今回はどのように市民へ周知していくのか伺う。</p>		